

緑が丘だより



**真岡中** 10月

教育目標

- 1 自ら学ぶ生徒
- 2 心豊かな生徒
- 3 たくましい生徒

## 校長室から

### 充実の秋 満喫

緊急事態宣言が解除されるとともに、コロナ感染が減少し、学校の行事が滞りなく実施できるようになりました。9月に入ってからすぐ運動会に代わるスポーツフェスティバル、3年修学旅行、緑が丘祭合唱コンクールと、昨年ではできなかったものを実施できる喜びを感じています。これから控える2年マイチャレンジ、1年井頭体験学習も計画通り実行できることを期待しています。

さて、2年ぶりに開催された合唱コンクール。市民会館を貸し切り、1年生からくじで決めた順に従い、学芸委員の進行で会が始まりました。1年生は特に緊張した面持ちで元気一杯の歌声を披露してくれました。ここまでは校長以下学年に関係ない先生方が余裕で審査していましたが、2年生、3年生と進むにつれて、審査が非常に難しくなりました。レベルがとても高く、どれも甲乙つけがたい出来栄で、真岡中の生徒が持つポテンシャル、クラスの頑張りに驚かされました。最後に吹奏楽部が東関東大会出場の貫録を見せつけた演奏を披露し幕となりました。

なぜ、こんなにも合唱コンクールが盛り上がるのか？

一言でいえば、集団の持つ力です。任されたパートに責任を持ち、クラスみんなの心を合わせて一つの作品を仕上げる。一人一人の努力と連帯、協力する気持ちなどが相まって、一人でやるより何倍もの達成感へと結びつくのです。結果も大事ですが、それ以上に過程が重要になります。学校での行事それぞれがこの繰り返しで、それにより生徒に主体性などが身に付くこととなり、教育目標の「自ら学ぶ生徒」が育成されるわけです。

運動会にしても学校祭にしても、保護者の方々には、今まで身近に見られた光景でしたが、こればかりはコロナの影響を避けられません。直接見に来ていただく機会が減った分、「真中の日」などを活用して来られる時間帯に自由に参観していただければと思います。生徒は嫌がるかもしれませんが、こっそりと！

また、28日から始まる保護者面談では大変お世話になります。限られた時間となりますが、心配事など遠慮なく担任にご相談いただきたいと思います。

ここにきて、朝夕の冷え込みが厳しくなりました。コロナも気を抜けません。どうぞ、健康には十分お気を付けください。

